

TOPPAN



TOPPAN STORY

トッパン・ストーリー

Vol.
96

第175期 株主通信 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

CONTENTS

連結財務ハイライト	2
株主の皆さまへ	3
特集	4
TOPPAN 6months	6
セグメント別概況	8
株式情報・会社概要	10
株主メモ・Information	11

連結財務ハイライト

1 株当たり株主配当金
〔年間〕

40円

（中間配当金 20円）
（期末配当金 20円）

年間配当金につきましては、
1株当たり40円となります。

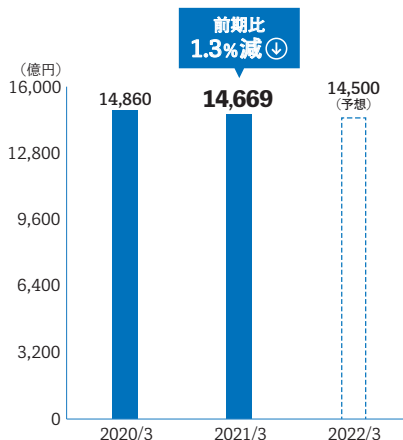
詳細は、IR情報ウェブサイトをご覧ください。



<https://www.toppan.co.jp/ir/>

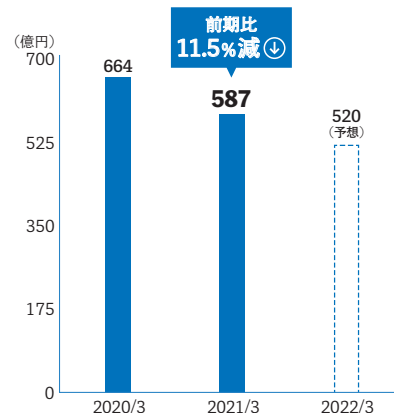
■売上高

14,669
億円



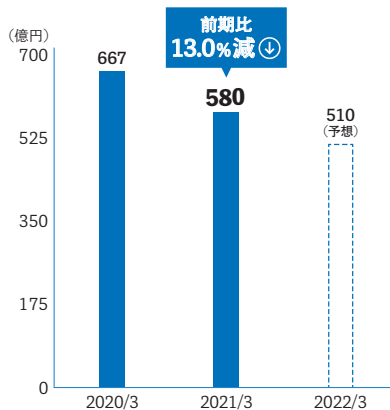
■営業利益

587
億円



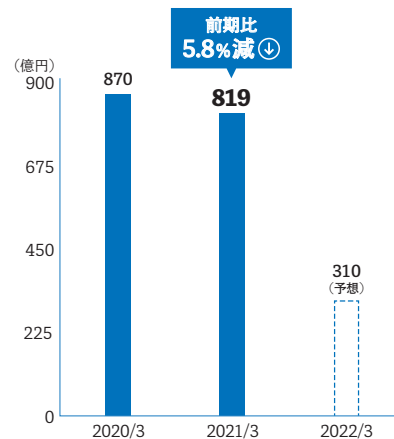
■経常利益

580
億円



■親会社株主に帰属する
当期純利益

819
億円



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期(第175期)のトッパングループの決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2021年3月期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に対する各種政策の効果もあり持ち直しの動きも見られましたが、通商問題を巡る海外経済の不確実性や金融資本市場の変動影響などもあり、厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ペーパーメディアの需要減少やイベントの中止など厳しい経営環境にありましたが、その一方で、オンライン需要や巣ごもり消費の増加、環境衛生に対するニーズの高まりなど、新たな需要も生まれました。

このような環境のなかで当社グループは、安定した財務基盤を確保しながら新たな収益モデルを早期確立すべく、新規事業では積極的に経営資源を投入し、既存事業ではさらなる技術開発強化やコスト削減など、競争優位性の確立に取り組みました。また、SDGsへの取り組みに関する基本的な考え方をまとめた「TOPPAN SDGs STATEMENT」に基づく活動を積極的に推進しました。

以上の結果、2021年3月期の連結売上高は前期比1.3%減の1兆4,669億円、連結営業利益は11.5%減の587億円となりました。また、連結経常利益は13.0%減の580億円、親会社株主に帰属する当期純利益は5.8%減の

819億円となりました。

なお、期末配当金は1株当たり20円とし、年間配当金は1株当たり40円とさせていただきます。

当社グループではこれまでも市場の変化をとらえた事業展開に努めてまいりましたが、昨今のデジ

タル化のさらなる加速、人びとの生活様式や価値観の大きな変化、加えて環境配慮やサステナブルニーズの世界的な高まりなど、めまぐるしく変化する社会に対応し、新たな時代に即した事業変革が急務となっています。

こうした背景をふまえ、このたび、当社グループは、中期経営計画を策定し、公表いたしました。これに基づき、事業変革と経営基盤強化を図るとともに、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに掲げ、ワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長 磨 秀晴

トッパングループ中期経営計画と中長期の目指す姿

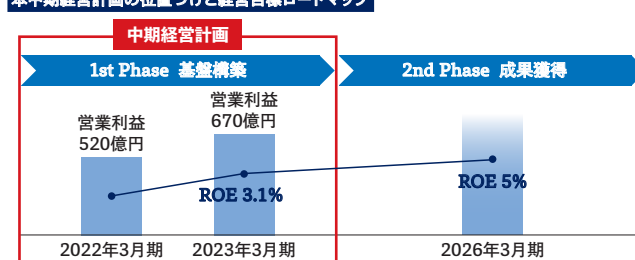
トッパンは、このたび、2021年度を初年度とする中期経営計画（2021年4月～2023年3月）を策定しました。本計画を将来のさらなる成長に向けた「1st Phase」と位置づけ、事業変革を図るとともに、経営基盤の強化に注力していきます。

さらに、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに、「DX」と「SX」によってワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいきます。

トッパングループの目指す姿



本中期経営計画の位置づけと経営目標ロードマップ



本中期経営計画では、以下の施策により、計画達成を目指していきます。

中長期の重点施策

1. 収益力の向上を目指す「事業ポートフォリオの変革」

① DX事業の推進

ビジネスのあり方や生活者の嗜好、行動が大きく変容し、デジタル化が加速するなか、マーケティングテクノロジーを活用した企業ブランド・製品・サービスのCX（カスタマー・エクスペリエンス）提供支援、デジタル技術と高度なオペレーションノウハウを掛け合わせたデータ活用型BPOの構築、海外におけるセキュア事業の拡大などを図っていきます。

なお、これらの取り組みにより、2025年度には、全社営業利益において、DX事業の構成比を30%水準に引き上げていく考えです。

② 生活系事業の海外展開

世界的に高まるサステナブルに対するニーズを背景に、「パッケージ」や「建装材」など生活・産業製品を中心に、海外事業の拡大を図っていきます。

M&Aを活用したグローバルネットワークを構築し、国内で培った技術とのシナジーを発揮していきます。また、パッケージは日本、北米、インドネシアを中心にバリアフィルムを活用したサステナブル包装材を武器に、建装材は海外生産拠点との

連携を強化することで地産地消体制を確立し、グローバルな需要を獲得していきます。あわせてグローバルガバナンスの観点からリスクコントロールも行い、海外事業の拡大を加速していきます。

なお、これらの取り組みにより、2025年度には、海外生活系事業において、全社営業利益の構成比で15%以上を目指していきます。



環境に配慮したモノマテリアルバリアパッケージ



買収した欧州大手建築材メーカー
INTERPRINT社

③ 新事業の創出 (フロンティアビジネス)

競争優位を持つテクノロジー・ビジネスモデルを核に、サステナブル関連や5G・6G関連などの「マクロトレンド関連テーマ」、「デジタルプラットフォーム事業」に特に注力し、新たなビジネスの創出を目指します。特に「ヘルスケア事業」に注力し、早期事業化を実現します。

なお、2025年度には、新事業の創出において、全社営業利益の構成比で10%以上を目指していきます。

2. 新たな成長を創出する「経営基盤の強化」

経営基盤の強化では、DXを軸に、自社競争力のさらなる強化に取り組んでいきます。

- システム基盤のモダン化
- スマートファクトリーの推進
- 研究開発機能の強化
- 人材の育成・活用



研究開発の中枢を担う総合研究所
(埼玉県北葛飾郡杉戸町)

3. 持続的な価値向上を支える「ESGへの取り組み深化」

トッパンは、社会的価値創造企業として、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みを積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

- 環境への取り組み、気候変動への対応(TCFD)
- 経営戦略へのSDGs視点の織り込み
- ガバナンス向上に向けた取り組み



財務方針・資本政策

● 財務方針

持続可能な社会の実現に向け、すべてのステークホルダーとともに社会的価値の創造を目指します。この長期目標達成のため、持続的な成長を支える財務戦略を展開します。

● 資本政策および株主還元方針

事業活動により創出したキャッシュは、中長期的な財務健全性を維持しながら、成長投資と株主還元バランスよく配分していきます。キャッシュフローの拡大に注力し、収益性・健全性の向上を図りながら、株主還元の充実に努めます。

本中期経営計画の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.toppan.co.jp/ir/management/policy.html>

2020 / 10 → 2021 / 3月

10月 6日 抗ウイルス・抗菌加工の塩ビ製化粧シートを開発

10月12日 パネルと並行に映像を出現させる空中タッチディスプレイを世界で初めて開発

10月19日 凸版印刷、NICT、QunaSys、ISARAの4者が連携
量子セキュアクラウド技術の確立に向けて始動

10月22日 和紙を使用した不燃壁紙ブランド「INSHU」を開発 [1](#)

11月 5日 凸版印刷とネスレ日本、『キットカット』外袋の紙パッケージ化で木下賞を受賞 **ESG**

11月13日 「TOPPAN Business Action for SDGs」を策定 **ESG**

11月16日 「DJSI World」に4年連続で選定 **ESG**

11月16日 凸版印刷とトラストメディカル、体外診断用医薬品を製造する新会社を設立 [2](#)

12月 2日 リサイクル材料を使用したバリアフィルムの用途拡大 **ESG**

1月 15日 「トッパングループ環境ビジョン2050」を策定 **ESG**



1



2



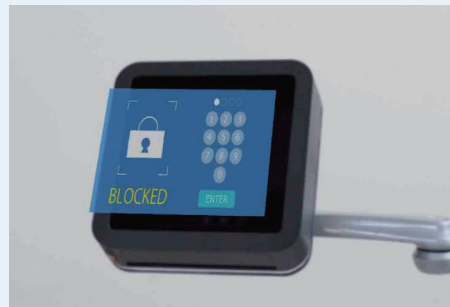
3

2020年10月12日発表

パネルと並行に映像を出現させる 空中タッチディスプレイを世界で初めて開発

当社は、昨今高まりを見せる非接触で操作可能なタッチパネルのニーズに応えるべく、従来品と比べ筐体の50%薄型化を実現した空中タッチディスプレイを開発しました。これまで産業機器向け高精細液晶ディスプレイ分野で培ってきた独自の光学設計技術と構造設計技術により、視認性が高く、壁に埋め込みも可能です。

本製品は、2021年の量産試作を経て、2022年の本格量産を目指します。主に医療用機器、公共施設の設備操作盤、高いセキュリティが求められる施設の入退室管理設備などへの採用に向けて取り組みを進めます。



空中タッチディスプレイ
※表示映像ははめ込み合成です。

ESG 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) 関連の取り組み

2月 3日 リチウムイオン電池用の消火フィルムを開発 **[3]**

2月 17日 紙素材のスタンディングパウチを開発 **ESG**

2月 18日 抗ウイルス・抗菌効果を持つパッケージ「ウイルスーパー™」フィルムタイプを開発

2月 19日 業界初 浴室でも使える紙パックの本格生産を開始 **[4]** **ESG**

2月 22日 国内初 抗ウィルスカードで国際規格SIAA認証を取得 **[5]**

3月 4日 「健康経営銘柄2021」に選定 **ESG**

3月 11日 ブルックマンテクノロジーを子会社化

3月 12日 世界初、曲率半径1mmで100万回屈曲可能なフレキシブルTFTを開発 **[6]**

3月 12日 「トッパングループ税務方針」を制定

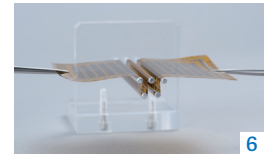
3月 19日 凸版印刷とTIS、ローカル5G接続での技術連携を開始



[4]



[5]



[6]

2020年12月2日発表

リサイクル材料を使用したバリアフィルムの用途拡大 **ESG**

当社は、再生材であるメカニカルリサイクルPET*を使用した、透明バリアフィルム「GL BARRIER」のレトルト対応グレードの新製品「GL-AR-N」を開発しました。これにより、長時間のレトルト殺菌を必要とする大容量の業務用食品やペットフード向けなどへの用途拡大を図ります。

再生材を使用したバリアフィルムの提供は従来から行ってきましたが、本製品はより長時間の殺菌への対応と高湿加熱後の高いバリア性能保持を可能とし、優れたバリア性と環境適性の両立を実現しました。

今後も再生材を使用した製品ラインアップを拡充するとともに、さまざまな業界と用途に適した環境対応パッケージの展開を目指します。

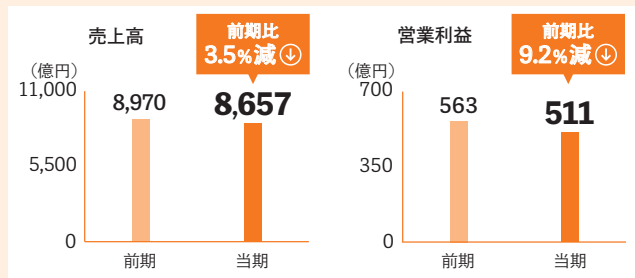
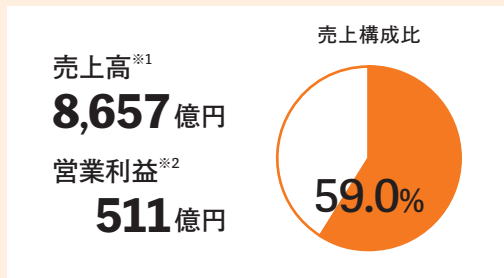
※メカニカルリサイクルPET：使用済みPETボトルを粉砕・洗浄した後に高温で溶融・減圧・ろ過などを行い、再びPET樹脂に戻したもの。



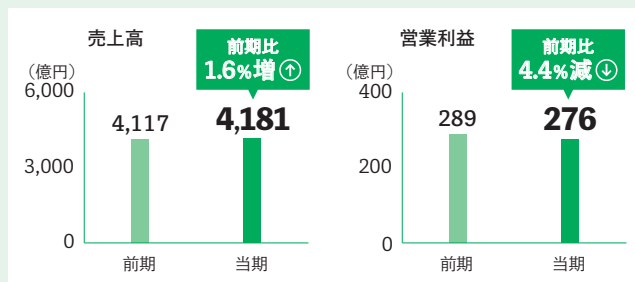
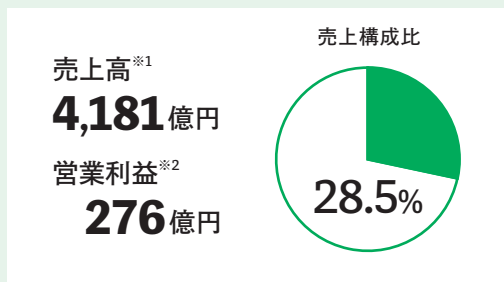
「GL-AR-N」を使用した環境対応パッケージ

セグメント別概況

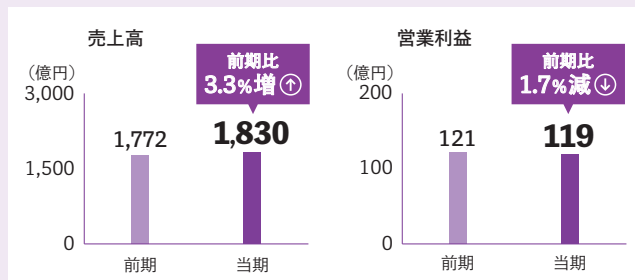
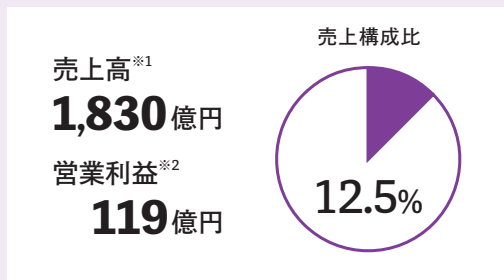
■ 情報コミュニケーション事業分野



■ 生活・産業事業分野



■ エレクトロニクス事業分野



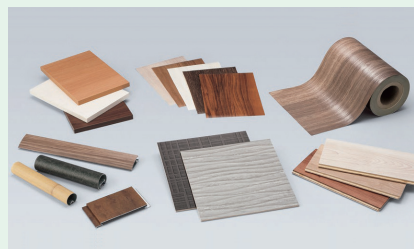
※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費用調整前の数値で計算しています。

セキュア関連は、ICカード関連は好調に推移し、また買収した新規子会社が海外のデジタル政府関連システムやクレジットカード需要に対応しましたが、前期を下回りました。ビジネスフォームやデータ・プリント・サービスも減収となりました。コンテンツ・マーケティング関連は、出版印刷、SP関連ツールおよび商業印刷ともに前期を下回りました。一方、BPO関連は、企業や政府・地方自治体等のアウトソーシング需要増で好調に推移しました。情報コミュニケーション事業分野全体では、前期比で減収減益となりました。



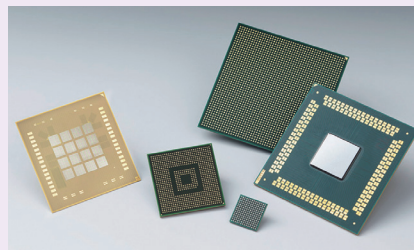
BPO

パッケージ関連は、軟包装材は加工食品向けが堅調に推移しましたが、外食向けが減少し、また、紙器もトイレタリー関連が落ち込み、前期を下回りました。建装材関連は、国内は店舗、ホテルなど非住宅市場の案件中止・延期の影響を受けて厳しい状況にありましたが、海外は家具などインテリア需要が拡大し、また欧州大手建装材メーカーであるINTERPRINT社の買収効果で増収となりました。生活・産業事業分野全体では、前期比で増収減益となりました。



建装材

半導体関連は、フォトマスクはオンライン需要の拡大でサーバーやメモリ、通信用などを中心に需要が下支えされ、FC-BGA基板も好調に推移しました。ディスプレイ関連は、カラーフィルタは前期比で減収となりましたが、反射防止フィルムは高付加価値品を取り込み、前期を上回りました。中小型TFT液晶パネルは、車載・産業機器向けの需要は下期に入り回復基調にあったものの、上期の低迷を受けて通年では減少しました。エレクトロニクス事業分野全体では、前期比で増収減益となりました。



FC-BGA基板

株式情報

2021年3月31日現在

発行済株式数 349,706,240株
株主数 38,499名

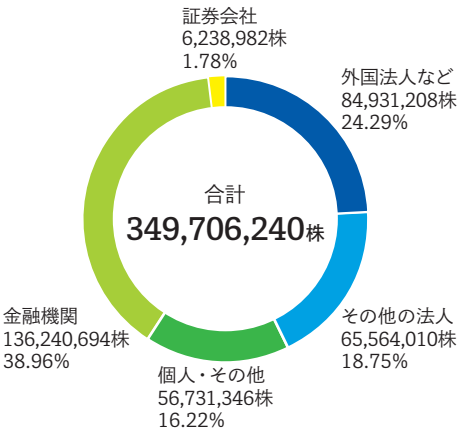
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,939	10.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,700	5.73
日本生命保険相互会社	15,002	4.36
東洋インキSCホールディングス株式会社	9,492	2.76
第一生命保険株式会社	9,154	2.66
従業員持株会	7,156	2.08
株式会社講談社	6,710	1.95
凸版印刷取引先持株会	5,955	1.73
エスエスピーティーシー クライアント オムニバス アカウント	4,996	1.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	4,660	1.36

※自己株式は、上記大株主から除外しています。

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

株式分布状況(所有者別)



※自己株式5,763千株は「個人・その他」に含まれています。

会社概要

2021年6月29日現在

社名 凸版印刷株式会社
本社事務所 〒112-8531
東京都文京区水道1-3-3
電話：03-3835-5111(代表)
URL：https://www.toppan.co.jp/
会社設立 明治33年1月17日
株式会社に組織変更 明治41年6月4日
資本金 104,986,430,314円
従業員数 連結 52,401名

取締役および監査役

代表取締役会長	金子 眞 吾	社外取締役	中林 美恵子
代表取締役社長	鷹 秀 晴	常任監査役	高宮城 實明
代表取締役副社長執行役員	大久保 伸一	監査役	久保 蘭 到
取締役専務執行役員	坂 井 和 則	社外監査役	重 松 博 之
取締役常務執行役員	黒 部 隆	社外監査役	垣 内 恵 子
取締役執行役員	真 島 宏 徳	社外監査役	笠 間 治 雄
社外取締役	野 間 省 伸		
社外取締役	遠 山 亮 子		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	1単元の株式の数	100株
定時株主総会	毎年6月	公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.toppa.co.jp/)に掲載 いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告 によることができない場合は、官報に掲載 いたします。
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券コード	7911
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
・お問い合わせ先	TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)		
・郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号		

〈株式に関するお手続きのご案内〉

お手続き・ご照会の内容	対象	お問合せ先
ご住所・お名前などの変更 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受取方法・振込先のご変更 マイナンバーに関するお届出・お問合せ	証券会社に口座を開設されている株主さま	口座を開設されている証券会社
	証券会社に口座を開設されていない株主さま (特別口座)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送などに関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ	全ての株主さま	

Information

▶ 印刷博物館からのお知らせ

P&Pギャラリー企画展

「グラフィックトライアル2020 -BATON-」

クリエイターのアイデアと印刷技術のコラボレーションにより、新しい印刷表現をさぐる恒例の企画展。今回のテーマは「BATON」です。

会 期 開催中～2021年8月1日(日)

休 館 日 毎週月曜日(臨時休館は当館ウェブサイトにて告知)

開館時間 10:00～18:00

※新型コロナウイルス感染症対策として、当面の間、入場者数の制限および入館事前予約制を導入しています。詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。



その他
企画展示

- 展示室「和書ルネサンス」展
会期 開催中～2021年7月18日(日)
- P&Pギャラリー「日本のパッケージデザイン
縄文と弥生のデザイン遺伝子-複雑とシンプル」展
会期 2021年8月7日(土)～10月3日(日)

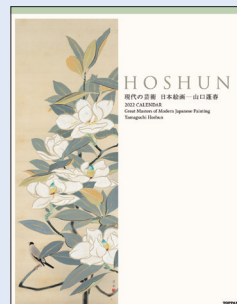
印刷博物館ウェブサイトURL <https://www.printing-museum.org>

▶ 株主優待カレンダーについて

当社では、2021年3月末の時点で5単元株(500株)以上をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は「現代の芸術 日本絵画-山口蓬春」と題し、明るくモダンな造形を追求した、魅力溢れる山口蓬春の作品をお楽しみいただけるカレンダーを予定しています。

お申し込みいただいた株主さまには、12月上旬頃までにお手元に届くよう発送する予定です。カレンダーをご希望の方は、「定時株主総会招集ご通知」に同封いたしました「株主優待カレンダー申込はがき」に必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

申込締切 2021年9月30日(木) 必着



2022年版株主優待カレンダー(デザインは変更になる場合があります。)

表紙について

オリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より

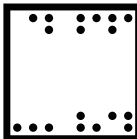
大自然に佇む熊本・阿蘇「鍋ヶ滝」

自社の映像クリエイターが撮影した日本各地の美しい風景等のオリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より、今号の表紙は緑に囲まれた大自然に佇む姿が神秘的で美しい熊本県阿蘇郡の「鍋ヶ滝」です。



表紙の映像を
ぜひ「AReader」でご覧ください。

スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google Playストア」でアプリ「AReader」を検索し、ダウンロード（無料）。「AReader」を起動し、右記のARマーカールにかざすと表紙に関連する映像がご覧いただけます。



※本画像は、高品質4K映像（Printeractive 4K）から切り出したものです。



Meet Japan!

凸版印刷株式会社

<https://www.toppan.co.jp/>

